

各種アンケート調査結果の比較 (市民・通勤者・事業所・職員)

～比較対照表・目次～

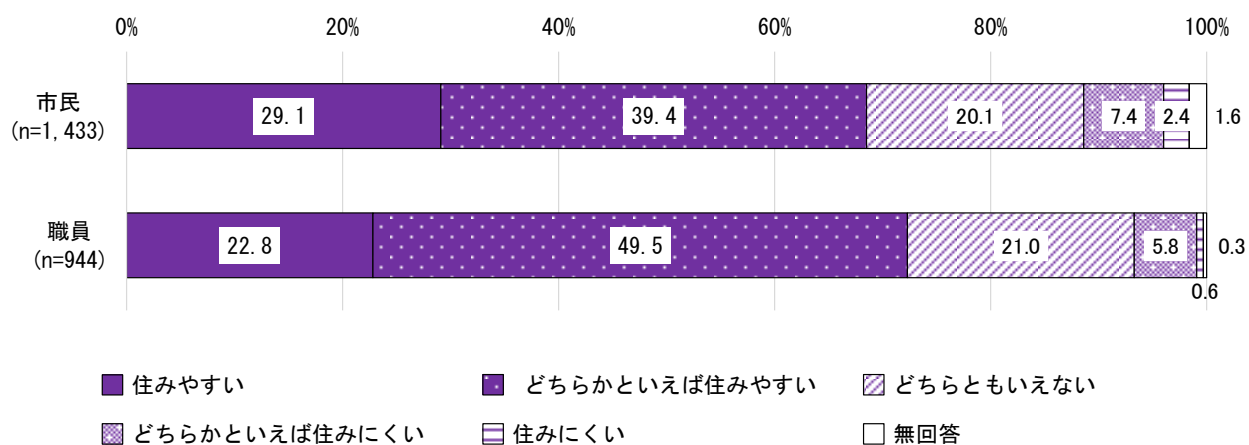
設問項目	市民	通勤者	事業所	職員	ページ 番号
1. 住みやすさ	Q1			Q1	1
2. 居住意向(移住希望)	Q2	Q2			2
2-1. 住み続けたいと思う理由(住んでみたいと思う理由)	Q2-1	Q2-1			3
2-2. 市外へ転居したいと思う理由(住んでみたくないと思う理由)	Q2-2	Q2-2			4
3. 甲府市の印象・イメージ	Q3	Q3		Q2	5
4. 未来の甲府市の姿としてふさわしいキーワード	Q4			Q3	7
5. 未来に活かしていきたい甲府市の魅力	Q5	Q4	Q5	Q4	8
6. 都市基盤の整備	Q11	Q5			9
7. 未来のまちづくり	Q13			Q5	10
8. リニア中央新幹線の開業への期待	Q14	Q6	Q8	Q6	11
9. 参加したい活動	Q16-1	Q8			12
10. 市民と行政による協働のまちづくり	Q17			Q7	13
11. 市民と行政が協働で取り組む分野	Q18			Q8	14

平成27年6月

甲 府 市

1. 住みやすさ

<市民と職員>



(注) 市民アンケートの設問は「甲府市は住みやすいまちですか」、職員アンケートの設問は「甲府市は住みやすいまちだと思いますか」となっている。

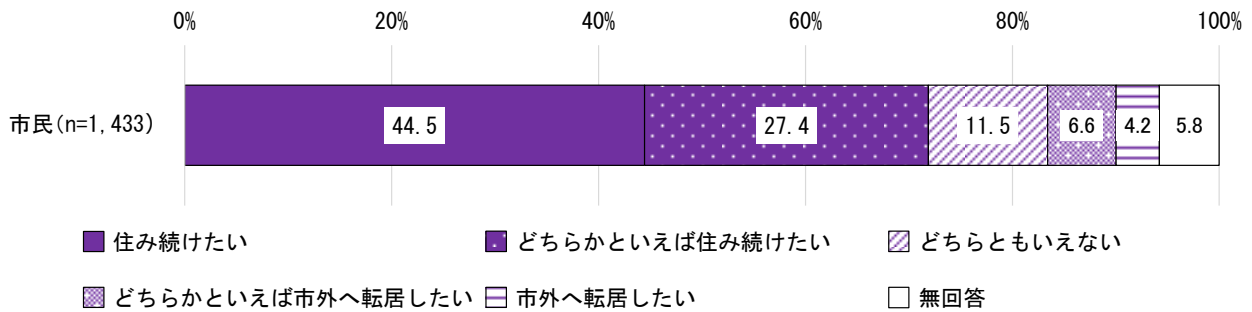
◆市民・職員ともに甲府市を住みやすいと感じている人が約70%

回答傾向に大きな違いは見られず、甲府市は住みよいまちだと感じている人が市民・職員ともに約70%となっています。

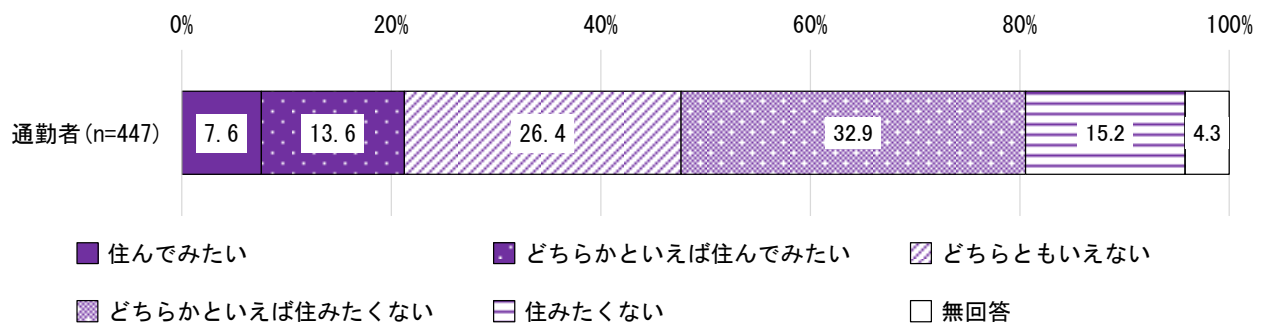
2. 居住意向（移住希望）

<市民と通勤者>

■居住意向



■移住希望



◆市民は約70%が住み続けたい、通勤者は約20%が住んでみたい

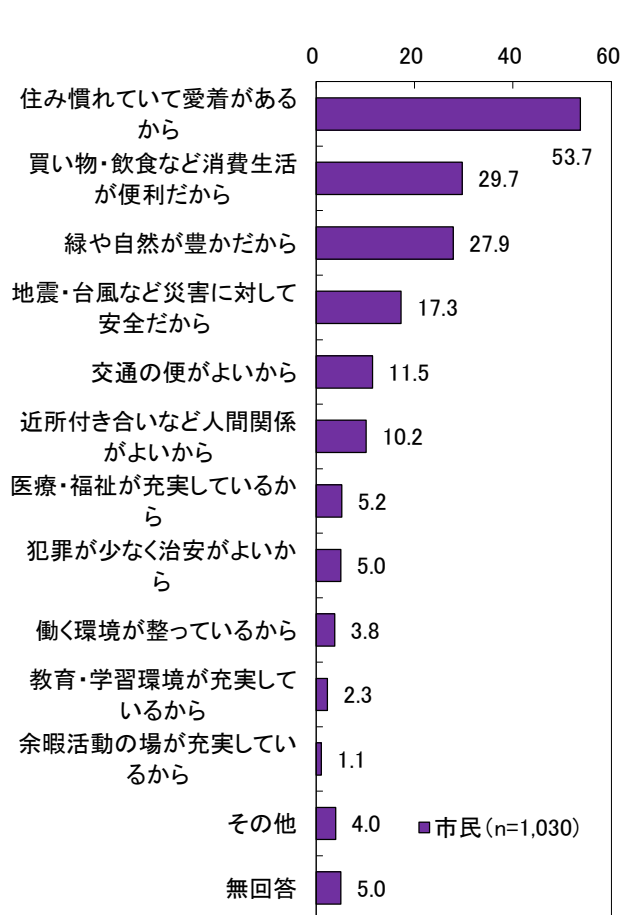
市民では「住み続けたい」が最も多く、「どちらかといえば住み続けたい」と合計した、住み続けたいと思う層は71.9%となっています。

通勤者では「どちらかといえば住みたくない」が最も多く、「どちらともいえない」が続きます。「住んでみたい」と「どちらかといえば住んでみたい」を合計した、住んでみたいと思っている層は21.2%となっています。

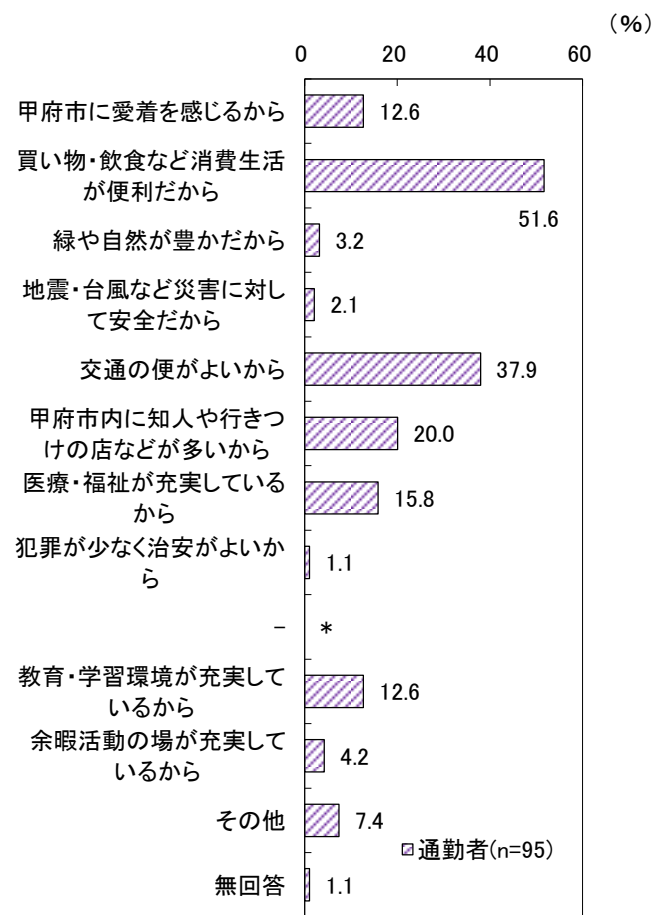
2-1. 住み続けたいと思う理由（住んでみたいと思う理由）

【前問で、市民では「住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」と回答した方、通勤者では「住んでみたい」または「どちらかといえば住んでみたい」と回答した方のみ】

<市民>



<通勤者>



◆市民が住み続けたい理由は愛着があるから、通勤者が住んでみたい理由は消費生活の便利さ

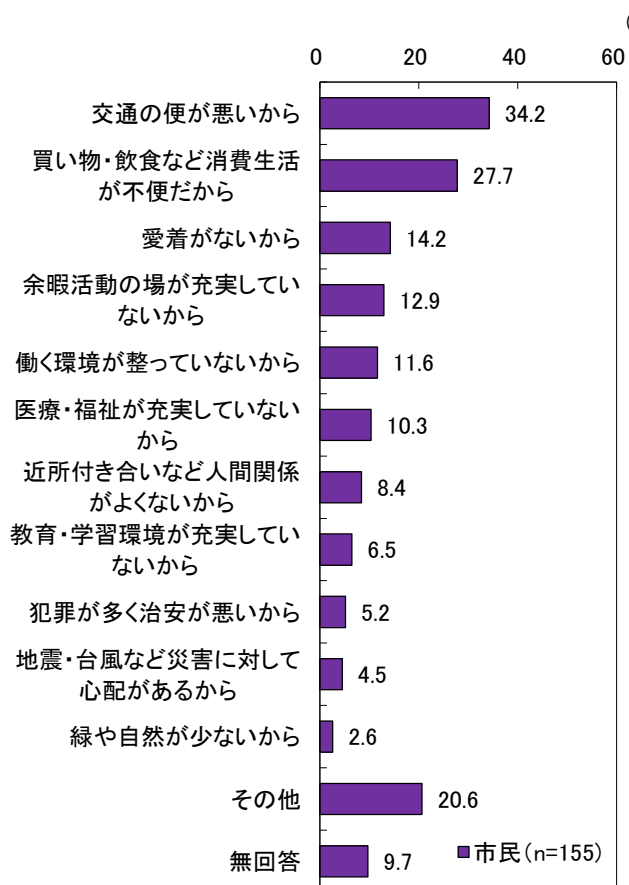
市民では、住み続けたいと思う理由として「住み慣れていて愛着があるから」が最も多く、「買い物・飲食など消費生活が便利だから」、「緑や自然が豊かだから」が続きます。

通勤者では、住んでみたいと思う理由として「買い物・飲食など消費生活が便利だから」と「交通の便がよいから」が上位となっています。

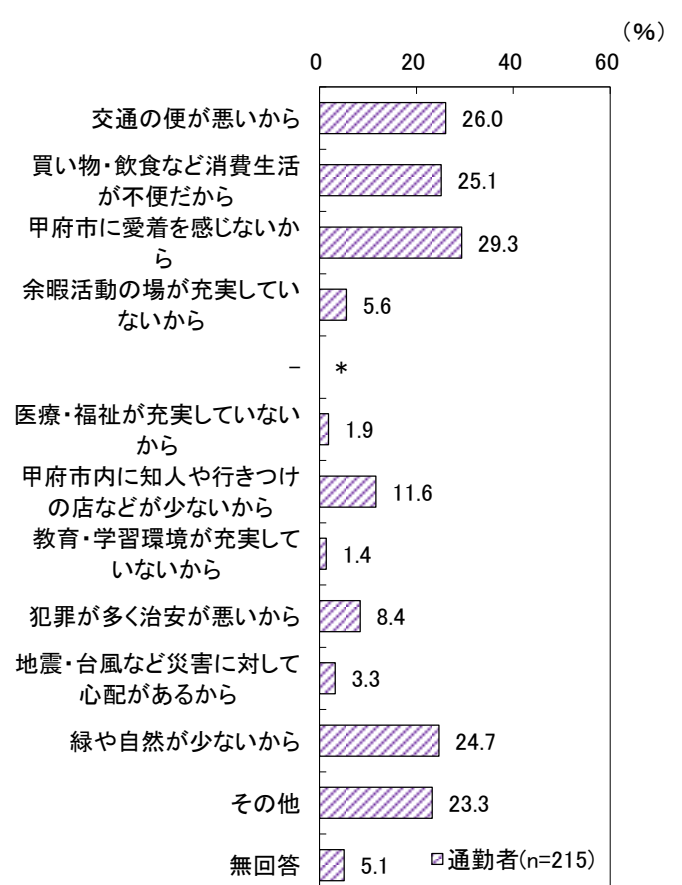
2-2. 市外へ転居したいと思う理由（住みたくないと思う理由）

【前問で、市民では「市外へ転居したい」または「どちらかといえば市外へ転居したい」と回答した方、通勤者では「住みたくない」または「どちらかといえば住みたくない」と回答した方のみ】

<市民>



<通勤者>



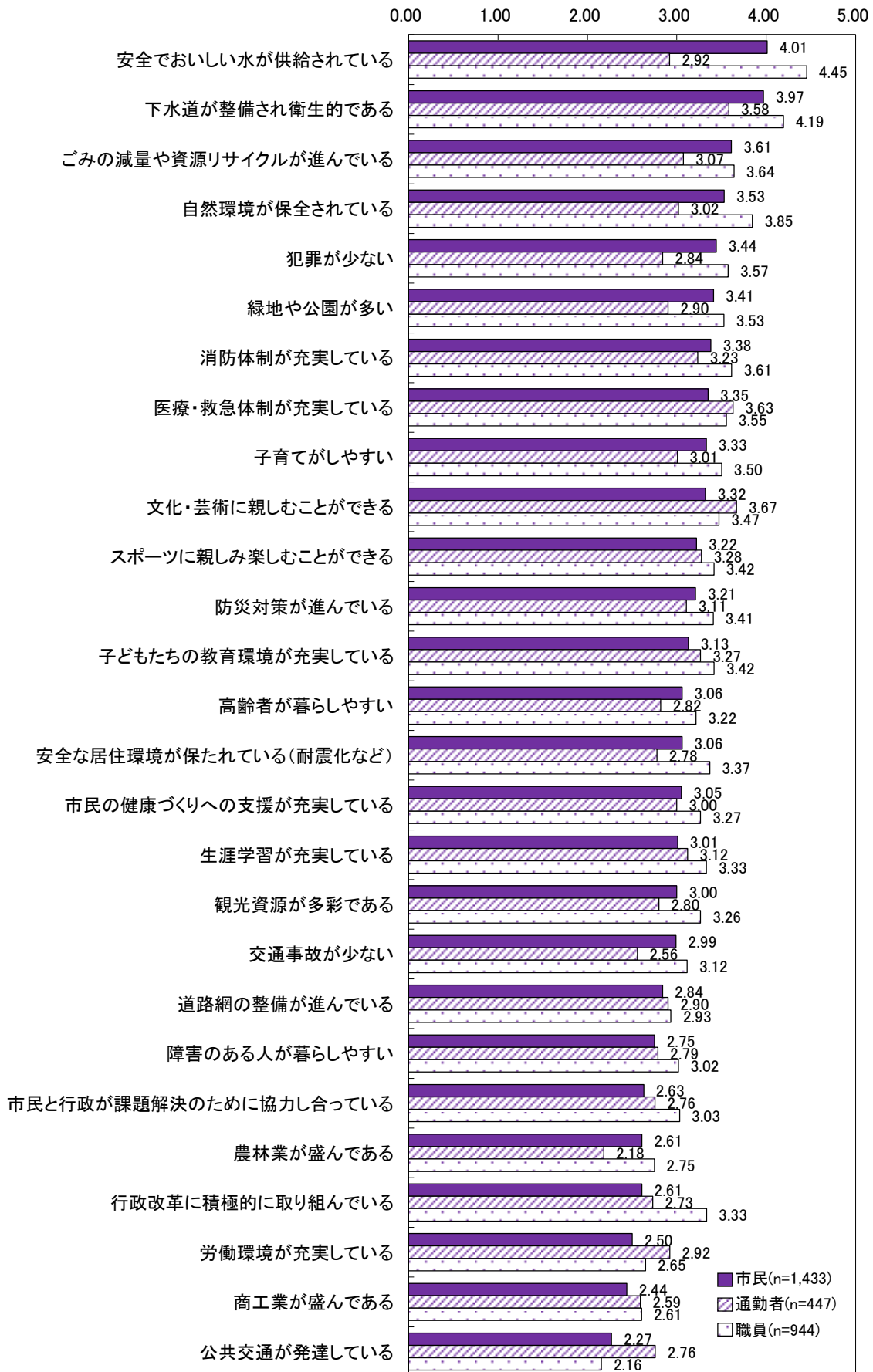
◆市民が転居したい理由は交通や消費生活の不便さ、通勤者は甲府市に愛着を感じないから

市民では、市外へ転居したいと思う理由として「交通の便が悪いから」が最も多く、「買い物・飲食など消費生活が不便だから」が続きます。

通勤者では、住みたくないと思う理由として「甲府市に愛着を感じないから」が最も多く、「交通の便が悪いから」、「買い物・飲食など消費生活が不便だから」が続きます。

3. 甲府市の印象・イメージ

<市民、通勤者、職員>



《集計方法とグラフの見方》

印象・イメージについて評価の結果をわかりやすく示すために、加重平均による分析を行いました。問3については、「そう思う・少し思う・どちらでもない・あまり思わない・そう思わない」の回答数に、それぞれ「5・4・3・2・1」点を乗じ、その合計を全回答数（無回答を除く）で除して評価点としました。

したがって、5に近いほど肯定的な評価、1に近いほど否定的な評価とみることができます。

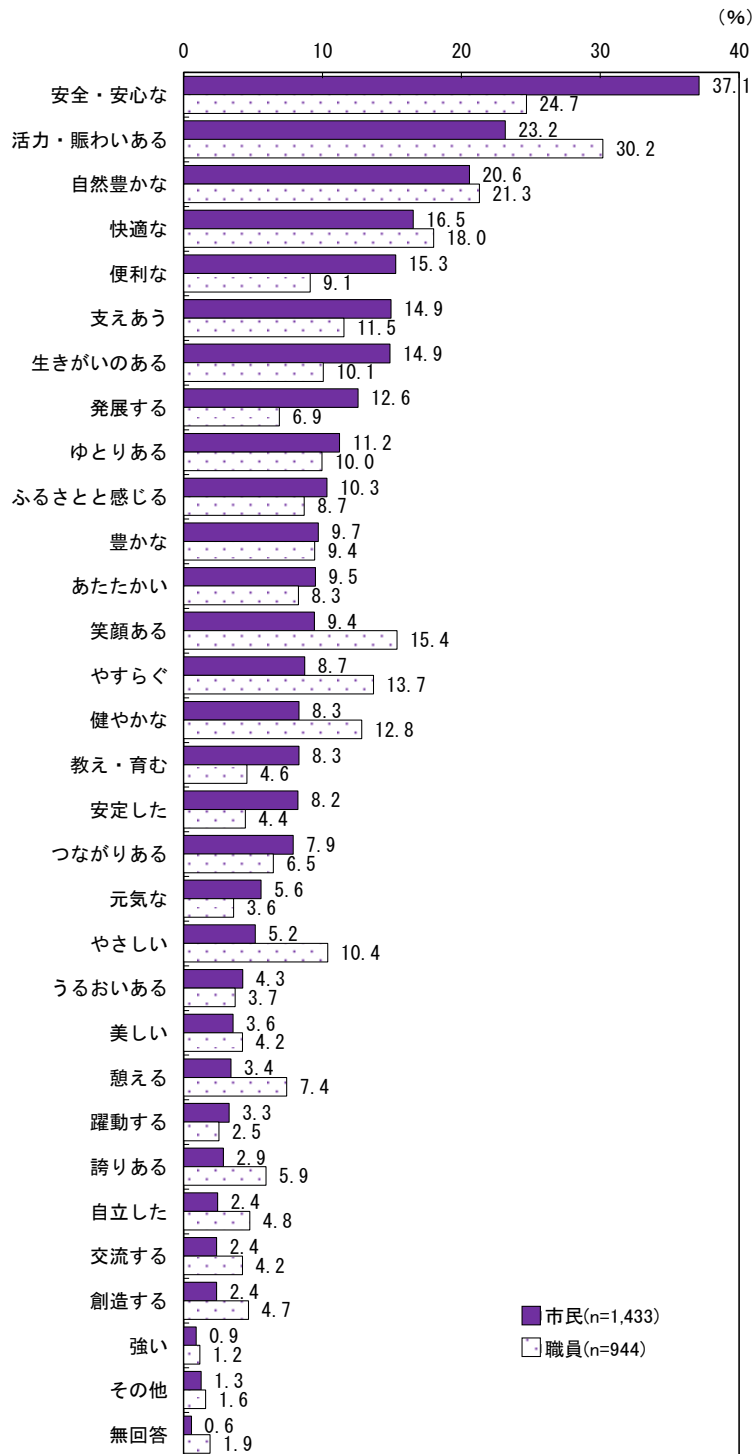
分野	項目	市民(n=1,433)		通勤者(n=447)		職員(n=944)	
		評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
福祉・健康	(1) 子育てがしやすい	3.33	9	3.01	11	3.50	9
	(2) 高齢者が暮らしやすい	3.06	14	2.82	18	3.22	19
	(3) 障害のある人が暮らしやすい	2.75	21	2.79	20	3.02	22
	(4) 市民の健康づくりへの支援が充実している	3.05	16	3.00	12	3.27	17
	(5) 医療・救急体制が充実している	3.35	8	3.63	2	3.55	7
教育・文化	(6) 子どもたちの教育環境が充実している	3.13	13	3.27	5	3.42	11
	(7) 生涯学習が充実している	3.01	17	3.12	7	3.33	16
	(8) スポーツに親しみ楽しむことができる	3.22	11	3.28	4	3.42	12
	(9) 文化・芸術に親しみ楽しむことができる	3.32	10	3.67	1	3.47	10
生活・自然環境	(10) 自然環境が保全されている	3.53	4	3.02	10	3.85	3
	(11) 緑地や公園が多い	3.41	6	2.90	16	3.53	8
	(12) 安全な居住環境が保たれている(耐震化など)	3.06	15	2.78	21	3.37	14
	(13) 安全でおいしい水が供給されている	4.01	1	2.92	14	4.45	1
	(14) 下水道が整備され衛生的である	3.97	2	3.58	3	4.19	2
	(15) ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる	3.61	3	3.07	9	3.64	4
	(16) 防災対策が進んでいる	3.21	12	3.11	8	3.41	13
	(17) 消防体制が充実している	3.38	7	3.23	6	3.61	5
	(18) 犯罪が少ない	3.44	5	2.84	17	3.57	6
	(19) 交通事故が少ない	2.99	19	2.56	26	3.12	20
産業	(20) 商工業が盛んである	2.44	26	2.59	25	2.61	26
	(21) 農林業が盛んである	2.61	24	2.18	27	2.75	24
	(22) 観光資源が多彩である	3.00	18	2.80	19	3.26	18
	(23) 労働環境が充実している	2.50	25	2.92	13	2.65	25
都市基盤	(24) 公共交通が発達している	2.27	27	2.76	22	2.16	27
	(25) 道路網の整備が進んでいる	2.84	20	2.90	15	2.93	23
行政運営	(26) 市民と行政が課題解決のために協力し合っている	2.63	22	2.76	23	3.03	21
	(27) 行政改革に積極的に取り組んでいる	2.61	23	2.73	24	3.33	15
印象・イメージの評価点平均		3.10	-	2.97	-	3.32	-

◆市民・職員は生活・自然環境の分野、通勤者は教育・文化の分野の印象が良い

市民・職員ともに、全体の上位6位までが生活・自然環境の分野となっています。一方、通勤者では、上位は教育・文化の分野となっています。

4. 未来の甲府市の姿としてふさわしいキーワード

<市民と職員>



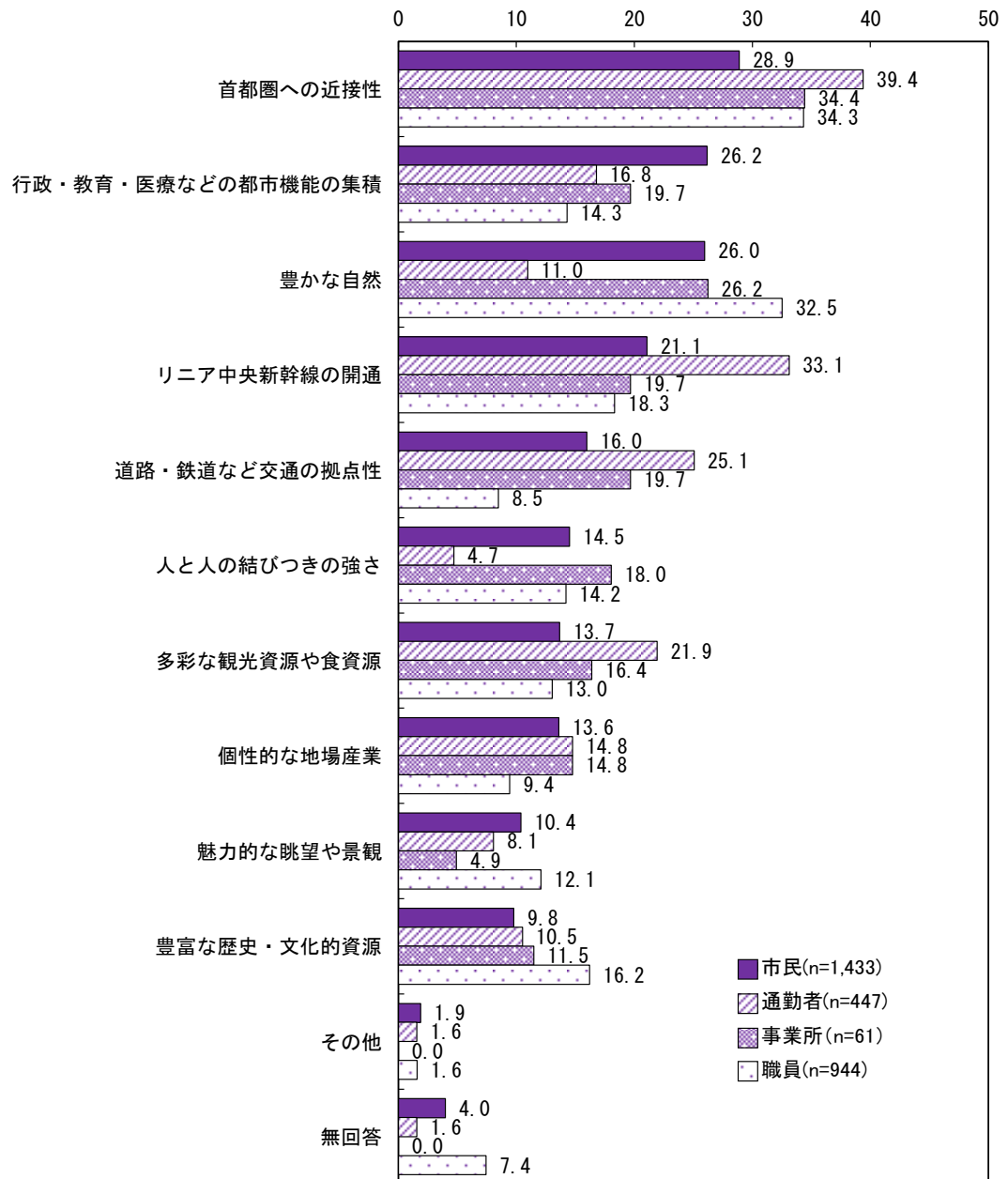
◆市民は「安全・安心な」、職員は「活力・賑わいある」が最も多い

市民では「安全・安心な」が最も多く、「活力・賑わいある」、「自然豊かな」が続きます。
職員では「活力・賑わいある」が最も多く、「安全・安心な」、「自然豊かな」が続きます。

5. 未来に活かしていきたい甲府市の魅力

＜市民、通勤者、事業所、職員＞

(%)

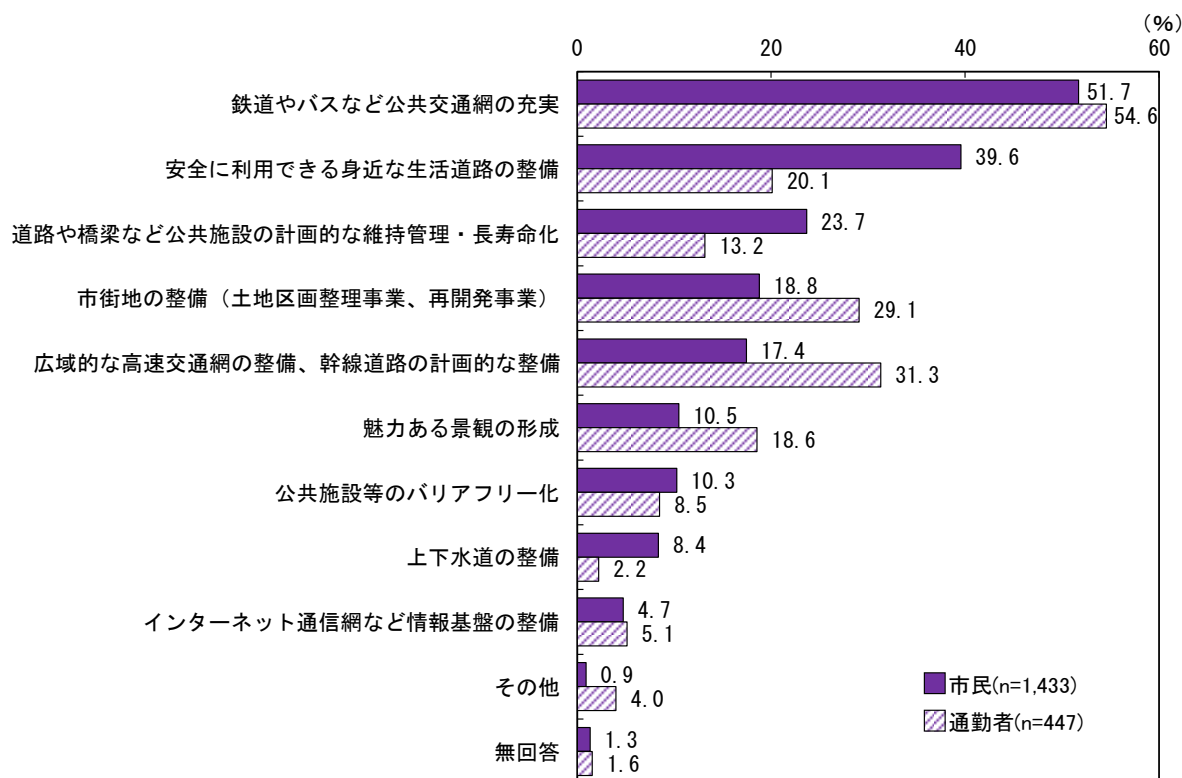


◆市民・通勤者・事業所・職員すべてで、首都圏への近接性が魅力

市民・通勤者・事業所・職員のすべてにおいて「首都圏への近接性」が最も多くなっています。このほか、市民では「行政・教育・医療などの都市機能の集積」、通勤者では「リニア中央新幹線の開通」、事業所・職員では「豊かな自然」が続きます。

6. 都市基盤の整備

<市民と通勤者>

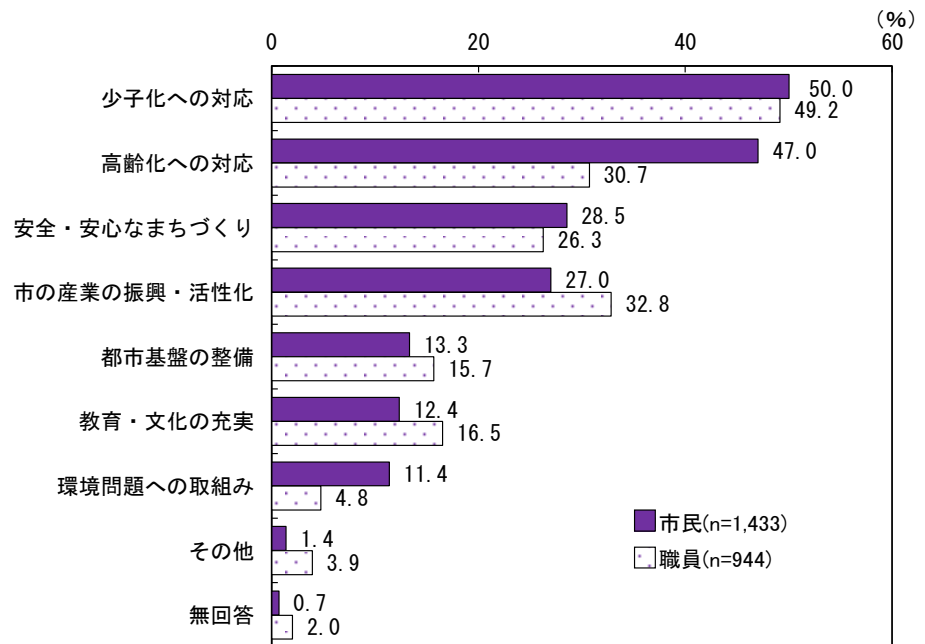


◆市民・通勤者ともに公共交通網の充実が最も重要

市民・通勤者ともに「鉄道やバスなど公共交通網の充実」が最も多くなっています。このほか、市民では「安全に利用できる身近な生活道路の整備」と「道路や橋梁など公共施設の計画的な維持管理・長寿命化」、通勤者では「広域的な高速交通網の整備、幹線道路の計画的な整備」と「市街地の整備」が上位となっています。

7. 未来のまちづくり

<市民と職員>

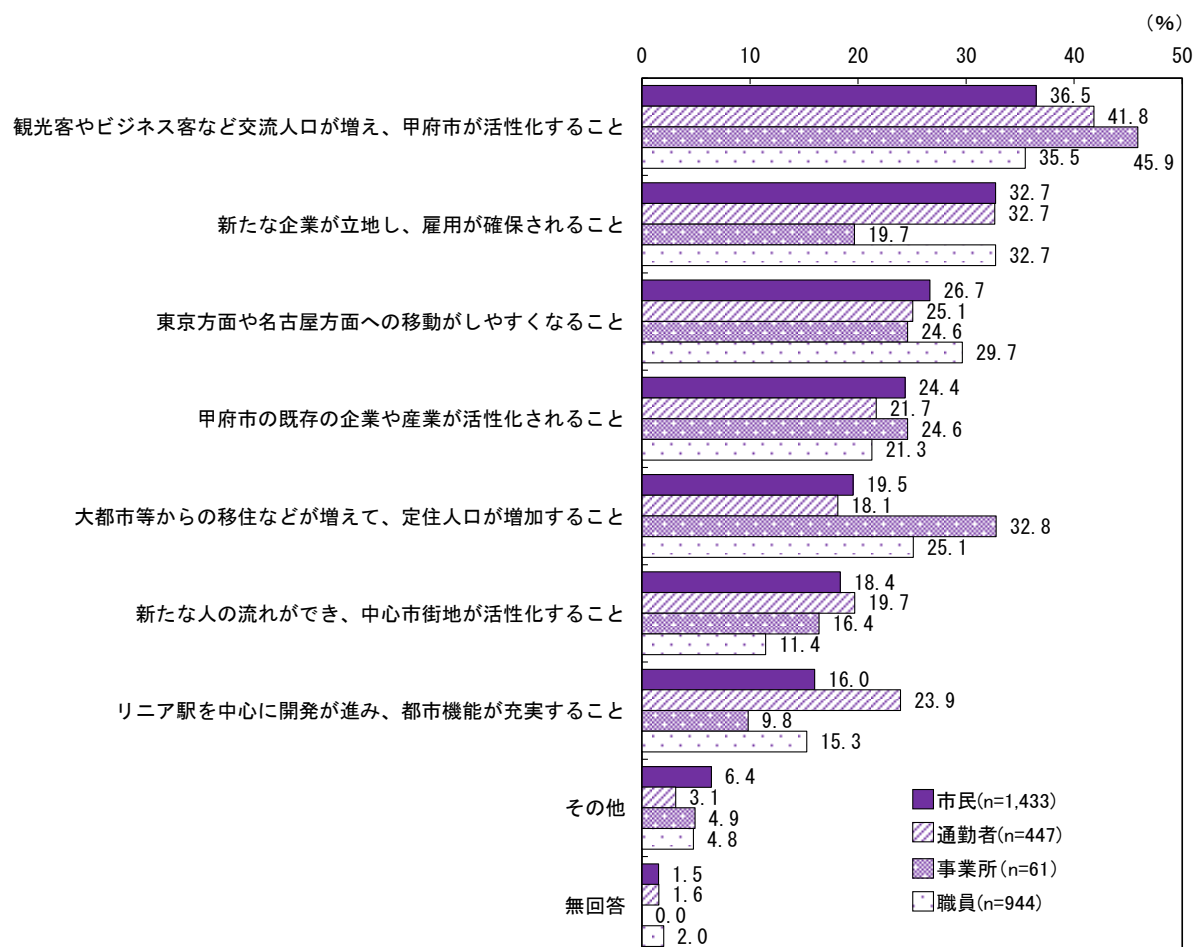


◆市民・職員ともに少子化への対応が最も重要

市民・職員ともに「少子化への対応」が最も多くなっています。このほか、市民では「高齢化への対応」、職員では「市の産業の振興・活性化」が続きます。

8. リニア中央新幹線の開業への期待

＜市民、通勤者、事業所、職員＞

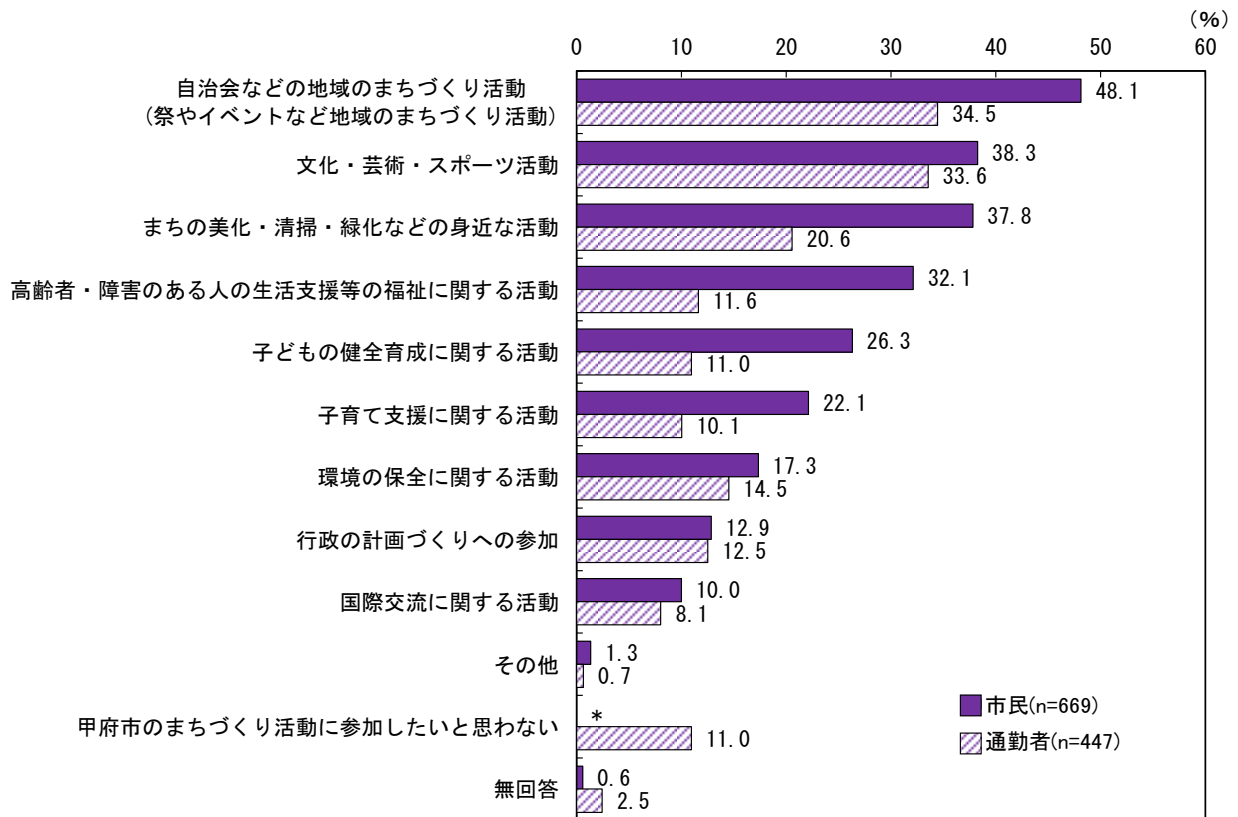


◆市民・通勤者・事業所・職員すべてで、交流人口の増加への期待が多い

市民・通勤者・事業所・職員のすべてにおいて「観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること」が最も多くなっています。このほか、市民・通勤者・職員では「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」、事業所では「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」が続きます。

9. 参加したい活動

<市民と通勤者>

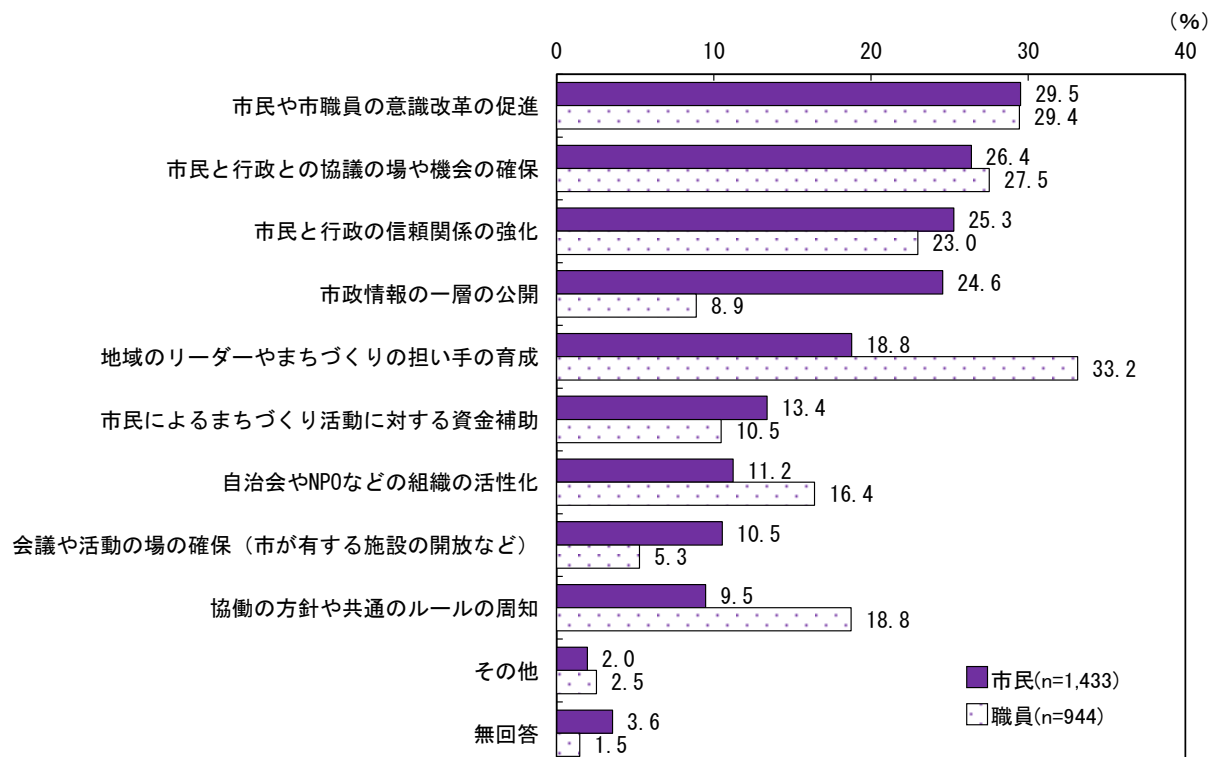


◆市民・通勤者ともに、地域のまちづくり活動や文化・芸術・スポーツ活動が最も多い

市民・通勤者ともに「自治会などの地域のまちづくり活動」と「文化・芸術・スポーツ活動」が上位となっています。

10. 市民と行政による協働のまちづくり

<市民と職員>

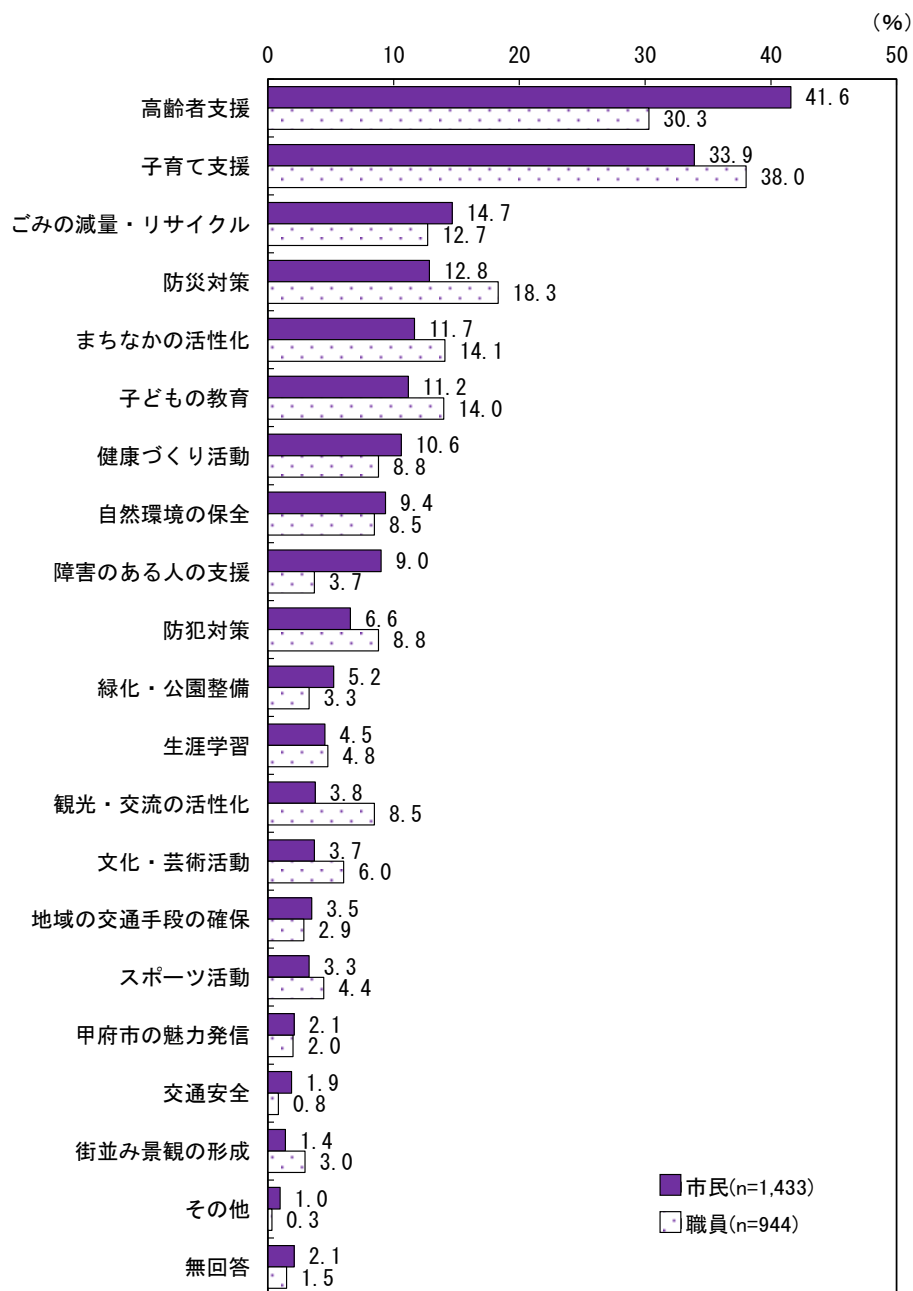


◆市民は市民・市職員の意識改革、職員はまちづくりの担い手の育成が最も多い

市民では「市民や市職員の意識改革の促進」が最も多い一方、職員では「地域のリーダーやまちづくりの担い手の育成」が最も多くなっています。

1 1. 市民と行政が協働で取り組む分野

<市民と職員>



◆市民は高齢者支援、職員は子育て支援が最も多い

市民では「高齢者支援」が最も多く、次いで「子育て支援」、「ごみの減量・リサイクル」となっています。職員では「子育て支援」が最も多く、次いで「高齢者支援」、「防災対策」となっています。